

# 越前漆器安く 鯖江で29店販売



越前漆器を品定めする来場者  
＝鯖江市のうるしの里会館で

「河和田越前漆器まつり」が三日、鯖江市西袋町のうるしの里会館で始まり、好天の下、多くの来場者が訪れ、お気に入りの越前漆器を探し求めていた。四日まで。

地元漆器店二十九店舗がお盆や箸、お椀などを通常よりも安く販売。来場者は手に取ったり、店の人に使いたい心地を聞いたりするなどして、じっくり品定め。漆を施した絵馬の絵付け体験や漆塗りの箸をラメや

ビーズで愛らしく飾り付けるコーナーなど多彩な催しを展開。お椀にくくりつけたひもを針金に引っかけて釣り上げる「お椀釣りバトル」もあり、子どもたちも夢中になっていた。

箸の飾り付け体験をし、辻このみさん(モト)＝福井市日之出小学校二年生＝は「箸づくりが楽しかった。使るのが楽しみ」と話していた。

四日も、漆器の即売会絵付け体験のほか、和太鼓の演奏や地元出身歌手のコンサートなどがある。

(松原育江)

田んぼで泥んこ遊びを楽しむ「鯖江かたかみ春たんぼ」が、鯖江市大野町の片上公民館周辺や文殊山で開



田んぼでのそり引き競争を楽しむ参加者ら＝鯖江市大野町で

## そり引き泥んこ競争 鯖江で「春たんぼ」

かれた。市内外から四千人が参加し、泥だらけになりながら、ソフトバレーボールやそり引き競争を楽しんだ。

地区住民でつくる実行委が主催。地域の活性化につなげようと一九八八年に始めた。

メインは「田んぼリンピック」。二人一組で二十組の参加者が好天の下、幅十尺の田んぼを往復するそり引き競争をし、トーナメントで優勝を競った。引き手が足を滑らせて前のめりに倒れたり、そりがひっくり返ったりとハプニングの続出。観客が大爆笑していた。

今回新たに企画した「コスプレ登山」では、戦隊もののかぶりものやゲームのキャラクターなどユニークな衣装をした参加者が、文殊山の頂上を目指した。

(松原育江)

## コースター

ゆめお

手織りや染め物など手作り体験が楽しめる「こごご



# 北から南から ふくい地域

ニュース 編集局

電話 0776-28-8613  
FAX 0776-28-8616  
www.chunichi.co.jp/kenmin-fukui  
URL  
MAIL henshu@kenmin-fukui.co.jp

購読 読者センター

電話 0776-28-8619  
FAX 0776-28-8602

広告 福井中日広告

電話 0776-28-8606  
FAX 0776-28-8608

事業 総務局

電話 0776-28-8618  
FAX 0776-28-8604

取材拠点

●坂井支社